

ICHIHARA



ETSUKO

市原えつこ

Dystopian Land

ディストピア・ランド

シビック・クリエイティブ・ベース東京「CCBT」
CIVIC CREATIVE BASE TOKYO [CCBT] 13:00 — 19:00

2025年3月1日(土) — 3月16日(日)
MARCH 1 (SAT) — 16 (SUN), 2025



テーマパークから国土へ：
フィクションはどれだけ
現実と接近できるか

休館日 月曜日
入場無料

主催 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

CCBT

CLOSED ON MONDAYS
FREE ADMISSION

ORGANIZER: CIVIC CREATIVE BASE TOKYO [CCBT]

市原えつこ *Dystopia Land* デイストピア・ランド

混沌の時代を生きる我々に必要なのは、まやかしの「明るい未来像」ではなく、どのような絶望的な未来が到来したとしても生き延びていけるしぶとい精神性なのではないか? 「デイストピア」を予知し思い描く行為の、逆説的な前向きさに着目し、不確実な未来へのレジリエンスを得ることを目指して「デイストピア・ランド」構想がスタートした。

市原えつこによる「デイストピア・ランド」では、科学的リサーチや人類史を織り交ぜながら虚実の入り混じるパラレルワールドの日本像を具現化した展覧会と、関連プログラムとして各分野の専門家を招いたレクチャーシリーズ、多様なワークショップを開催する。これらは、「デイストピア時代の市民教育プログラム」であり、共にデイストピア時代を力強くサバイバルするためのメソッドを身につけるための試みである。

We live in chaotic times. Instead of optimistic visions, we need a dogged determination to survive no matter what hopeless situations lie on the horizon. Dystopia Land focuses on the paradoxical positiveness inherent in the act of predicting and envisioning the disasters that await, and aspires to give us resilience in the face of an uncertain future.

Ichihara Etsuko's project features an exhibition that imagines an alternative Japan, blending fact and fiction and interweaving scientific research with the history of humankind, as well as a series of lectures by guests experts and various workshops. These events function as an educational program for the citizens of a dystopian age, and an attempt to develop better means for surviving this dystopia together.

プロフィール

市原えつこ

アーティスト、妄想インベーター。日本的な文化・習慣・信仰を独自の観点で読み解き、テクノロジーを用いて新しい切り口を示す作品を制作する。奇想天外な発想で広く楽しめる作品性と日本文化に対する独特のデザインから、世界中の多様なメディアに取り上げられている。第20回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門優秀賞、アルスエレクトロニカで栄誉賞を受賞。近年の主な展覧会に「六本木クロッシング 2022 展：往来オーライ!」(森美術館)等。

ETSUKO ICHIHARA

Artist, fantasy inventor

Etsuko Ichihara has been creating artworks that interpret Japanese culture, customs and beliefs from a unique point of view, and present new, technology-based approaches. Thanks to their strong impact, these works have been introduced across a wide range of media all over the world. Ichihara's works were included in the Excellence Award at the 20th Japan Media Arts Festival, Entertainment Division and Honorary Mention (Interactive Art+) in PRIX Ars Electronica. She has recently presented her works in exhibitions such as 'Roppongi Crossing 2022' at the Mori Art Museum.

最悪な時代に、人はどのようにしぶとく生きられるのか?
Living tenaciously through the worst of times.



関連イベント

レクチャーシリーズ「デイストピアの学校」

来るべきデイストピアの社会を生き抜く術を、さまざまな分野の専門家と共に議論するレクチャーシリーズを開催。学びを深め、デイストピアの市民階級を向上しよう。

定員 50名(先着順・事前申込不要)

参加費 無料

ホスト 市原えつこ

Day1

2025年3月8日(土) 14:00~16:00(開場13:45)

一限 「デイストピアの身体」(14:00~)
講師 田中みゆき、武田力

二限 「デイストピアの宗教」(15:00~)
講師 清水知子、海老原豊

Day2

2025年3月15日(土) 14:00~16:00(開場13:45)

一限 「デイストピアの国家」(14:00~)
講師 水野祐、ほか

二限 「デイストピアの市民生活」(15:00~)
講師 小沢剛、畑中章宏

デイストピアの食体験ワークショップ 「Dystopian Cooking Studio」

2025年3月1日(土) 15:00~16:00

デイストピアの社会を統御する架空の教団の聖餐を通して、「デイストピア時代の食」を味覚で体験! この特別な機会を見逃すな。

定員 30名

(事前申込制・申し込み多数の場合は抽選)

申込期間 2月6日(木)14:00~2月20日(木)

参加費 無料

ワークショップ

「デイストピアの市民生活を共創する」

アイディエイション 3月4日(火)、9日(日)

クリエイション 3月12日(水)、13日(木)

アーティストと共に未来社会を想像し、作品として具現化するプロセスを体験・習得します。それぞれの思い描くパラレルワールドの未来を形にしよう。

申込期間 2月6日(木)14:00~上限に達し次第終了

対象 どなたでも

(小学生以下の参加は保護者同伴)

関連イベントの詳細・申込については、CCBTウェブサイトにてご確認ください。

CCBT

住所:〒150-0042 東京都渋谷区
宇田川町3-1 渋谷東武ホテル地下2階
アクセス:渋谷駅ハチ公改札口より徒歩8分
開館時間:火曜日~日曜日 13:00~19:00
お問合せ:E-mail ccbt@rekibun.or.jp

Address: Shibuya Tobu Hotel B2F
(2-1 Udagawacho, Shibuya-ku, Tokyo)
Access: 8 minutes' walk from Hachiko Exit of
Shibuya Station
Opening hours: Tuesday - Sunday, 1:00 pm - 7:00 pm
Contact: Tel: +81-3-5458-2700
(Tuesday - Sunday, 1:00 pm - 7:00 pm)
E-mail: ccbt@rekibun.or.jp

※本作は、シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]「アート・インキュベーション・プログラム」の一環として制作されます。
This work was produced as part of the "Art Incubation Program," an artist fellowship program of the Civic Creative Base Tokyo [CCBT].